

Q 2 : 中学校の学級活動の内容 (3) 「学業と進路」における指導上の留意点及び具体的な活動事例について教えてほしい。

A : 学級活動の内容 (3) では、(2) と同様、「集団思考を生かした個人目標の自己決定」を行い、その実践を通して自己指導能力を育成する。教師からの情報提供や学校・職業調べ等に終始することなく、自己の課題に対する努力目標の「自己決定」及び事後の「実践」が不可欠である。5つの項目に沿った題材について、

- ①教師から提示された課題を自分の課題として受け止める
 - ②原因を追求する
 - ③話し合いを通して解決方法を考える
 - ④自分の努力目標を決定する
 - ⑤決定したことを実行する
- という流れが基本となる。

以下に、題材の設定例や具体的な活動事例を示す。

1 学習指導要領に示された5つの項目及び題材の設定例

ア 学ぶことと働くことの意義の理解 題材例：「充実した人生と学習」「学ぶことや働くことの楽しさと価値」「学ぶことと職業」など
イ 自主的な学習態度の形成と学校図書館の利用 題材例：「学習意欲と学習習慣」「自ら学ぶ意義や方法」「学校図書館の意義や役割」「不得意教科の克服」「自分にふさわしい学習方法」「自宅学習の内容や方法」など
ウ 進路適性の吟味と進路情報の活用 題材例：「自分のよさの発見」「職業と適性」「生き方を学ぶ」「進路に応じた学習機会の選択」「学校調べ」など
エ 望ましい勤労観・職業観の形成 題材例：「自分の役割と生きがい」「働く目的と意義」「身近な職業と職業選択」など
オ 主体的な進路の選択と将来設計 題材例：「自分の夢や希望」「人生と生きがい」「30年後の私」「志望校・希望職業の選択」「進路の選択と私の悩み」など

2 各項目の具体的な活動事例

(1) 項目：ア 学ぶことと働くことの意義の理解
題材：「学ぶことや働くことの楽しさと価値」
事例：【職場体験活動について発表しよう】

事前	<ul style="list-style-type: none"> 職場体験活動の前に、ワークシートで「働くことの意義」や「職業に必要な適性」について考える。 発表会に向けて、発表内容と原稿を考える。
本時	<ul style="list-style-type: none"> 自分の職場体験活動の内容を発表する。他の生徒は発表を聞きながらワークシートに記入する。 それぞれの発表内容に関する質疑応答や助言をする。 職場体験活動で自ら学んだことや他の発表を聞いて気付いたことを基に、これからの生活で取り組むことを自己決定して、振り返りシートに記入する。
事後	<ul style="list-style-type: none"> 働くことの意義に対する様々な考え方があることに気付くために、掲示された級友の振り返りシートを確認する。 自己決定した内容を実践できているか振り返る。 将来、職業に就くために、今の学校生活で自分が大切にしなければならないことを考える。 職業に就くために必要な進路を、本やインターネットなどで調べて考える。

(2) 項目：イ 自主的な学習態度の形成と学校図書館の利用
題材：「学校図書館の意義や役割」
事例：【学校図書館に行こう】

事前	<ul style="list-style-type: none"> 書評合戦について理解し、学級の書評合戦ルールを作成する。 学校図書館にある本の中から、自分が紹介したい本を選び、原稿作りをする。
本時	<ul style="list-style-type: none"> 図書係から書評合戦のルール説明を聞いた後、小グループで書評合戦を行う。 小グループ内で投票を行い、代表を決定する。 各小グループの代表で書評合戦を行う。 今後の学校図書館の活用についての目標や取組方法を自己決定する。
事後	<ul style="list-style-type: none"> 自己決定した目標に向かって一人一人が取り組む。 自己決定した内容に沿って振り返る。

<学級の書評合戦のルール例>
①5分間で自分が選んだ本を紹介(原稿は見なくて話す)
②紹介された本について討議
③一番読みたくなった本に投票

(3) 項目：ウ 進路適性の吟味と進路情報の活用

題材：「自分のよさの発見」

事例：【自分のよさを生かした職業を探そう】

＜職業特色シート例＞

「人と接することが多い／少ない」
 「自分で考える／指示されたことを行う」
 「相手は子供／大人／動物／機械／自然」
 …など様々な視点について、一人一人に
 ○やってみたい／△悩む／×やりたくない
 などを付けさせて、幅広く考えさせる。

事前	<ul style="list-style-type: none"> 自己理解チェックシートに記入し、自分自身のよさについて考える。 職業特色シートから、自分が将来やってみたい職業の特色を選ぶ。 将来の夢や目標についてのアンケート調査を行う。
本時	<ul style="list-style-type: none"> 職業特色シートから、「自分が将来最もやってみたい職業の特色」を三つ選ぶ。 ペアになり、お互いに職業特色シートを交換して、職業リスト100の中から友達に合っていると思う職業を選ぶ。 選んだものや、なぜそれを選んだかについてペアで伝え合った後、学級全体で感じたことや考えたことを話し合う。 ここまでの活動を基に、自分のよさについて考え、それを今後の学校生活でどのように生かすか、具体的な目標や内容を自己決定する。
事後	<ul style="list-style-type: none"> 自己決定したことを学校生活の中で実践する。 朝の会や帰りの会で、自己評価カードに記入して実践を振り返る。

(4) 項目：エ 望ましい勤労観・職業観の形成

題材：「働く目的と意義」

事例：【先輩から学ぼう～ライフプランニング】

事前	<ul style="list-style-type: none"> 教員から題材の事前予告を聞き、今自分たちが一番知りたいことを活動テーマとして設定する。 プライバシーや人権、職業差別の問題につながらないように十分注意しながら「誰に」「何を」聞か考え、家族や親類等、身近な人にインタビューをする計画を立てる。 長期休業を活用するなど活動期間を適切に設定し、計画に沿って一人一人がインタビューを行う。
本時	<ul style="list-style-type: none"> グループごとにインタビューの結果を報告し合い、「大人からのメッセージ」を付箋と画用紙を使ってグループごとに整理する。余白にはキーワードや気付いたことを書く。 付箋を整理した画用紙を見せながら、全てのグループが報告内容を発表し合う。 発表を聞いて気付いたことを、一人一人がワークシートに記録する。 これからの目標を自己決定して「ライフプランカード（〇〇歳版）」に書き、先生の話聞く。
事後	<ul style="list-style-type: none"> 自己決定したことを基に、日常生活の中で実践する。 振り返りカードを書き、実践の過程や成果を振り返る。

＜ライフプランカード（〇〇歳版）例＞

- ①どんな大人にあこがれますか？
- ②15年後、あなたは何をしたいですか？
- ③そのために、これからの生活で、どんなことを頑張りたいですか？ …など

(5) 項目：オ 主体的な進路の選択と将来設計

題材：「自分の夢や希望」

事例：【将来の夢を実現するために、自分の生き方を考えよう】

事前	<ul style="list-style-type: none"> 将来の夢ベスト3を考え、その職業について調べ、級友と意見交換を行うとともに、将来の夢の実現に向けて、自己の課題を確認する。 「自己の将来に関するアンケート調査」を実施・集計・分類し、多くの生徒に共通の問題をつかむ。
本時	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果の発表から、学級全体で問題意識の共有化を図る。 問題の状況や原因、解決するための方法等について話し合い活動を行う。 小グループで自分の夢を発表し合い、夢を実現させた人たちについて話し合う。 話し合った内容と今の自分を比較する。 話し合ったことを踏まえ、自己の実践目標や解決方法について自己決定する。
事後	<ul style="list-style-type: none"> 日常の学校生活において、自己の実践目標に向けて行動する。 一週間実践してきた自分を振り返る。 学級通信を活用して生徒を賞賛するとともに、活動の様子について保護者に知らせる。

ここで扱う活動内容は、生徒の現在及び将来の生き方を考える基盤になるものである。5つの項目全てを指導計画に位置付け、学年ごとの内容の発展や深化についても配慮しながら実施していく必要がある。また、将来子どもたちが社会人、職業人として自立していくことを目指すキャリア教育の視点に立ち、直面するであろう様々な課題に柔軟かつたくましく対応していくための指導の充実が一層望まれる。

【参考資料】

- 指導資料「学級・学校文化を創る特別活動(中学校編)」
- 中学校学習指導要領解説特別活動編

H28.4 国研
H20.9 文科省